

大阪芸大に怪獣あらわる？！ 特撮の裏側 野外ロケ

2013年 7月14日（日）、15日（月）※雨天中止

① 11：30 ② 13：00 ③ 14：30

場所：9号館前広場

■模擬撮影イメージ



ストーリー

浪波大学東山キャンパスにある生物研究室。

遠洋漁業の網にかかった「竜の珠」三個のX線分析が、南田麗香教授のもとで行なわれていた。

だがX線を照射された「竜の珠」はにわかに活性化、超音波信号を発信した。人間でいうSOSである。

この超音波信号は、播磨灘の海中を回遊していた魔獣メルキオンによりキャッチされた。

メルキオンは大阪湾から大阪市街に上陸して、ビルを破壊していった。

陸上自衛隊が戦車中隊（戦車十八両+ 兵員輸送車一両）で「怪獣」を要撃したが、冷凍霧を浴びせられて全滅した。

北見謙治は、ギガースからの連絡によって、進撃中の怪獣が「魔獣メルキオン」（レムリア人の命名）であり、その狙いが「竜の珠」にあることを知った。

謙治は「アポロンの鎧」を装着、巨人アポロナイトとなってメルキオンに向かっていったが、冷凍霧の直撃を浴び一時退却した。

勝ち誇ったメルキオンは、浪波大学東山キャンパスへの進撃を開始した。双子山の秘密基地に退却した謙治は、ギガースからメルキオンに対する秘策を授かる。

浪波大学生物研究室では、「怪獣」の接近の理由が、「竜の珠」にあることを察して、ヘリコプターでの移送を図った。三個の「竜の珠」を収めたトランクが、南田教授によりヘリコプターに運ばれ、操縦士によって離陸する。

だが、ヘリコプターは、大和川の河畔でメルキオンと遭遇、冷凍霧を浴びせられ、墜落寸前のところを、間一髪でアポロナイトに救われ、河畔に降ろされた。

そして、アポロナイトとメルキオンの再戦。

メルキオンの冷凍霧が再びアポロナイトを襲ったが、アポロナイトは自らの体を高速回転させて気流を起こし、冷凍霧を逆流させた。

冷凍霧を自らが浴びて、ひるむメルキオン。

そこにアポロナイトの赤熱拳が炸裂、倒れたメルキオンはアポロナイトの目から放たれた光線により倒れた。

アポロナイトの完全勝利か、と見えたが、河畔で南田教授の悲鳴が聞こえた。

謙治が駆けつけると、先刻機体が傾いたとき、トランクが機外に放り出されて川底に激突、「竜の珠」は大和川の流れに消えたのだ。

「竜の珠」の脅威は消えていない。謙治は身の引き締まる思いだった。